普及現地情報

発信年月日	令和４年(2022 年) ６月８日
所　属　名	東近江農産普及課
番　　号	D22003
部門分類	140（飼料作物）
発信者名	田中（義）、松嶋

子実用トウモロコシが栽培される

東近江市と日野町の２か所で子実用トウモロコシ（品種：「パイオニア 34N84 」）が栽培され、９月中～下旬の収穫が予想されます。

これまでのサイレージ目的ではなく子実収穫を目的としたトウモロコシの栽培で、面積拡大も期待されます。

６月１日現在、一部で生育むらがありますが全体的に生育は順調です。

この取組みの背景は

①ロシアのウクライナ侵攻により飼料用トウモロコシの輸出量の約 20%を占める、世界第４位のウクライナおよび５位のロシアからの輸出量が減り原状回復の見通しが立たない

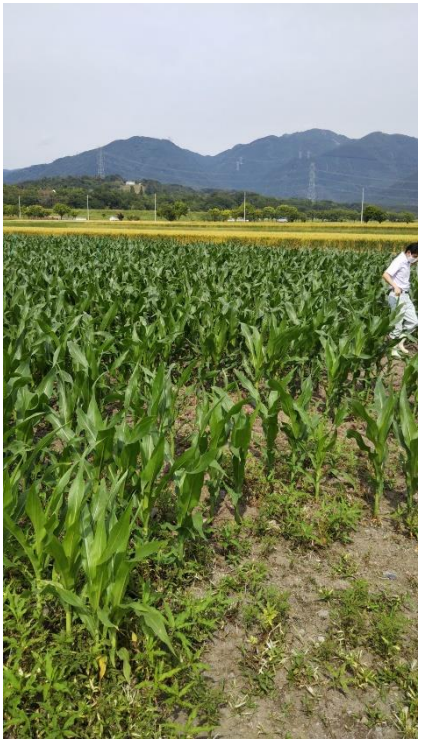
②コロナの世界的流行によるコンテナ・船便の減少や石油高騰による運賃の上昇

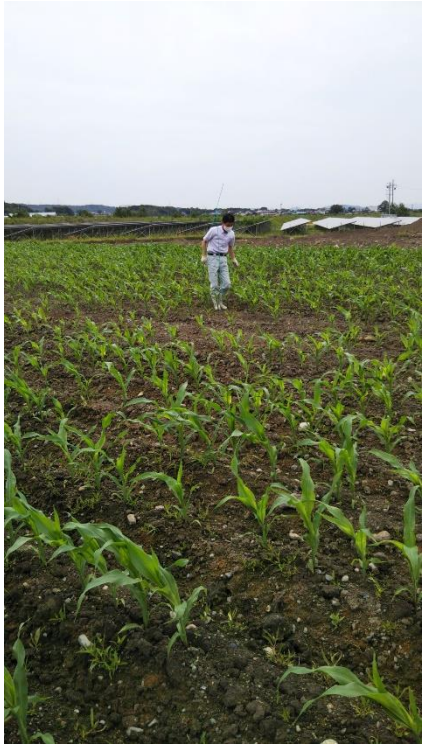
③円安による輸入価格の上昇

といった複合的なもので配合飼料価格が値上がっていることです。

配合飼料に含まれる飼料用トウモロコシ（子実用トウモロコシ）の国産量を増やすことにより、畜産農家の配合飼料費を海外からの影響を受け難くし、価格を安定させる取組みの一つとして期待されます。

当課は今後も定期的な現地巡回で生育状況を把握し、適期に収穫し良品質かつ十分な収量が確保できるように支援していきます。





子実用トウモロコシ

「パイオニア 34N84 」ほ場

場所　：
左：日野町
　３月下旬播種
右：東近江市
　４月下旬播種